

東灘区更生保護女性会だより

結成70周年記念号

70周年記念号 令和8年3月

発行：東灘区更生保護女性会

東灘区更生保護サポートセンター

(東灘区甲南町 3-6-22)



東灘区更生保護女性会会長 松澤 恵



2025年 東灘区更生保護女性会は70周年を迎えることができました。

活動に携わってこられた会員の皆様、活動の場を提供して下さったりご協力いただいた諸団体の皆様や支えて下さった多くの皆様、すべての方々に感謝申し上げます。

時代の流れと共に活動の仕方、内容などは変わってきていますが、「何か自分ができる事をしよう」という気持ちは変わらず持ち続け、今のような和やかで楽しい雰囲気の中でこれから先も歩んでいきたいですね。



結成70周年おめでとうございます

兵庫県更生保護女性連盟

会長 山村紀久子

結成70周年の記念すべき年を迎えられましたことに、心からお慶び申し上げます。

東灘区は、戦争の被害から地域の皆さんの努力によって復興しつつある中、更生保護への理解も少ない中で、女性保護司3名の方によって会を発足され明るい地域を作ろうとの目標のもとに関係団体と連携をとりつつ組織的な活動へと発展させてこられました。と同時に、県更女連盟の活動とともに歩みを進め、心の通い合った活動を展開してこられました。

時代の進展と共に高度経済成長をとげ、経済優先で生活は便利で快適になりました。また、社会情勢もめまぐるしく変化し、XやSNSによる誹謗中傷や陰謀論、ITやAIの劇的な進歩によって、情報が溢れんばかりに飛び交うようになりました。文明が進むにつれて他者への思いやりや心の繋がりが弱まってきているように思います。

世の中が大きく変わってきた「今」。更女の原点である「ほっとけない」は、日本人の心に営々として培われてきた他者を思いやる温かな心が出発点。東灘区更女も「心の通い合い」を大切にしてくれました。今一度、原点にかえり現在の実情に見合った活動を模索していきましょう。御歌の「傷つきし心」は見えないけれど、それを受け止め見える想像力をもつ「心の時代」を作っていきましょう。

東灘区更女会員みなさまの、ご多幸とますますのご活躍をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。



東灘区更生保護女性会発足70周年
を心よりお祝い申し上げます

東灘区保護司会

会長 山下敬一

長きにわたり、地域に根ざした、女性らしい細やかな気遣いのある活動に取り組んでこられた会員の皆様のご尽力に保護司会を代表して感謝申し上げます。日々周囲の方達に寄り添い、励まし続けてこられた活動は、私達保護司にとっても、学ぶ事の多い存在です。

社会情勢が変化する中、更生保護を取り巻く課題も多様化しておりますが、今後とも互いに力を合わせ、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、ともに歩んで行けたらと思っています。又保護司も兼ねて女性会で活動されている会員の方々には、男性以上のハードワークを、お願いするに至っています。お手伝い出来る事はどしどしお申し出下さい。

貴会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。



本庄 世界一長い雲梯(ギネス認定)



本山 灘の一寸火



魚崎郷酒蔵



住吉 白鶴美術館



御影公会堂



東灘区更生保護女性会

令和3年～7年 5年間のあゆみ ①

◎総会

令和3年は前年に引き続きコロナウイルス感染拡大のため
緊急事態宣言発令となり書面決議となりました
開票作業の結果議案が可決されました
令和4年5年6年は御影公会堂にて開催
令和6年は東灘区更生保護女性会活動のスライドを作り会員に
披露しました
令和7年は東灘文化センターにて、東灘区保護司会山下敬一会長
をお招きし、和やかに開催しました



令和7年 5月 東灘文化センター



◎兵庫県更生保護女性連盟結成70周年記念大会 令和7年6月11日

東灘区文化センター うはらホールにて開催され
清興 詩舞「祝賀の詞」の観賞や、兵庫県保護司会連合会堀保彦会長の
記念講演 「人として生きる」を拝聴しました
山本清美さんが日本更生保護女性連盟理事長表彰を受賞しました



更女は更生を支えるのみならず、地域の社会福祉全般に目配りして活動しています。
当日は他支部の方々とお会いして情報交換できたことも良い経験になりました。今後も
更女の活動に少しでもお役に立てたら幸いです。

◎御影灯ろう展

神戸市立御影小学校青少協主催の“灯ろう展”に更生保護女性会として
毎年協賛しています
幼稚園児から中学生までの力作が校庭フェンスに展示されます
灯ろうは紙製で周囲4面に子どもたちが思い思いに絵を描いています
更生保護女性会として毎年1点を選び表彰しています
令和7年は4コマ漫画風の“逆上がりができた！”という元気のいい作品を選びました



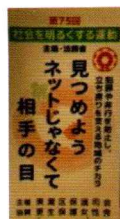
◎関西国際大学「サービ斯拉ーニング」活動

令和3年4年5年東灘地区BBS会が地域や大学生の「更生支援」への理解を
深めるために行った、サービ斯拉ーニングに協力しました
東灘区更生保護女性会の活動紹介や、大学生の質問に答えるなどの活動をしました



◎甲南げんき村での広報活動

コープリビング甲南にある「甲南げんき村」(誰もが元気にいきいき暮らせ誰かと緩やかに
繋がる地域を目指す)に社会を明るくする運動のスローガンなどを掲示していただいています



令和3年～令和7年 5年間のあゆみ ②



◎社会を明るくする運動 7月



集いは令和3年コロナ禍のため中止となり、御影クラッセ 4階で活動紹介のパネル展示をしました

令和4年5年はパネル展示と広報活動を行いました

令和6年7年は神戸市消防音楽隊の演奏、神戸市立御影幼稚園児のだんじり演舞、魚崎結舞のよさこい等が披露されました



御影クラッセ だんじり広場

「社会を明るくする運動」の作文コンテストでは小中学生のすぐれた作品の選出に協力しています



◎ふれあい秋まつり(令和5年6年) 本二小青少協夏まつり(令和7年)

令和5年6年は本山地区大日女尊神社境内でキャンディすくいのブースをだし、子どもたちが大中小のスコップでキャンディすくいを楽しみました

令和7年は神戸市立本山第二小学校での青少協夏まつりにキャンディすくいを出店し、「万博」をテーマにミャクミャクの壁飾り、万国旗のキャンディなどで、子どもたちの笑顔にふれ元気をもらいました



◎県更女教養講座



毎年様々な講師の方のお話を聴き、研修しています

令和7年8月、アステック KOBЕ で、ミル・テラスカウンセリングルーム 代表金子ちあき様の講演「自立に寄り添う傾聴とは」を聴きました



「竹のようにしなやかな心を持つ」という言葉に共感しました。
隣の席の方との意見交換の時間があり、先生が各々の席を回って意見を聞きアドバイスをくださるなど有意義でした。
相手の話を聴く時は押しつけない・本人のペースに合わせて待つ・安心感を持ってもらえるように、そして「心に余裕を」常に心がけたいです。

◎前進座公演観劇

令和3年「一万石の恋」

令和4年「東海道四谷怪談」

令和5年「あやかし」

令和6年「花こぶし」

令和7年「雨あがる」

令和7年は一番前の席で、役者の方の表情もよく見え楽しく観劇しました
毎年、大阪国立文楽劇場で観劇し、料金の一部が更女活動に還元されます



令和3年～令和7年 5年間のあゆみ ③



◎神戸ブロック研修会



令和3年 コロナ禍のため中止

令和4年 生田地区担当

(講話「神戸の歴史とお菓子」と津軽三味線演奏)

令和5年 兵庫地区担当

(講話「兵庫運河とブルーカーボン」とバイオリン演奏)

令和6年 北地区担当

(講話「見えない橋はどうあるべきか」と落語)

令和7年 長田地区担当

(講話「最近の犯罪情勢並びに特殊詐欺について」と

兵庫県警音楽隊演奏)

毎年、各ブロックの趣向をこらした
研修会に楽しく参加しています



長田区の更女会員の方々はおそろいの白いポロシャツで運営に携わっておられました。活動の様子をビデオで流され、組織の高齢化等の問題提起をされながらも保護司会、区役所との協力で地域に根差している様子がわかりました。県警音楽隊の演奏は昭和の私たちにピッタリの選曲で盛り上がりました。

4年後の東灘区開催が気になり始めました。

◎矯正展・バザー (神戸刑務所 ・ 姫路少年刑務所)

令和3年4年はコロナ禍のため中止

令和5年6年は姫路少年刑務所で皆様から寄せられた品物を
他地区の会員の皆様と共に楽しく販売しました

令和7年神戸刑務所では地元中学生のブラスバンド演奏、
変面ショーなどの催しもあり、楽しみながら参加しました

盛況のうちにバザー用品もほとんど売れました

収益は兵庫県更女の活動費に活用されています

たくさんの方に協力していただき感謝しています



今年も丹波の新米、淡路の玉ねぎ、菊の切り花など、目玉商品を目指して、多くの来店者がありました。矯正展の品物も格安!

他地区の更女会員さんと情報交換や親睦を深めながらディナーサービスのための資金集めに楽しく協力できました。

◎ディナーサービス (神戸学而園 ・ 播磨保正会)

令和3年4年はコロナ禍のため中止

令和5年からは久しぶりに楽しく参加しました

令和6年の播磨保正会では献立を考え、中華風メニュー(春巻き・しゅうまい
杏仁寒天など)を調理して喜んでいただきました

例年季節を感じるお料理を、他地区の方々と協力して楽しく作り、提供しています

令和7年は播磨保正会で、ハヤシライス・マカロニサラダ・杏仁豆腐を作りました



◎県更女リーダー研修会 初心者研修会



毎年、神戸保護観察所において県更女リーダー研修会が開催され、令和7年は

神戸保護観察所手塚徹所長の講話「明るい地域社会を」を聴きました

更女活動のキーワード「女性」「ボランティア」「更生保護」「地域性」を再認識しました

初心者研修会は経験の浅い会員が参加し、学んでいます



令和3年～令和7年 5年間のあゆみ ④



◎兵庫県更生保護大会

令和3年 相生市

令和4年 朝来市

令和5年 明石市

令和6年 神戸市 更生保護制度施行75周年記念大会
(神戸文化ホールで実施され大会準備にも参加しました)

令和7年 西宮市

令和7年は藤田奈緒美さんが近畿地方更生保護委員長表彰を
川西千夏子さんが神戸観察所長感謝状を受賞しました



◎歳末愛の持ち寄り 12月

県内3か所の更生保護施設に、皆様から寄せられた寄付金や、
タオルや石けんなどの日用品を神戸保護観察所にて贈呈しています
書き損じのはがきやテレホンカードも集めています
今後も寄付品のご協力をよろしくお願いします



◎子ども食堂支援活動



令和4年から毎年子ども食堂「ほんわかキッチン」
(川西保護司と更女会員の奥様で活動されています)に、
クリスマスプレゼントのお菓子を寄付し、子どもたちに
喜んでもらっています

令和7年は調理などのお手伝いにも参加しています



準備や買い物など大変なことを楽しみながらされて
いました。不登校の子ども
さんたちとも親しく、楽し
く参加させていただき有意
義な時間でした。

地域の方々と共に毎月2回楽しく子ども食堂の活動をさせていただいています。下は小学3年生～上は
70代まで “できる人が出来る時に” 隣で困っている人にそっと手を貸せるような温かい地域作りのお
手伝いになればと活動しています。今後もほんわか、ほっこりみんながつながる居場所として、どなたでも
入りやすい環境を目指して活動を続けていきたいと思っています。

◎寺尾智文きり絵画文集「原爆ヒロシマ」の寄贈 令和7年

「ヒロシマを語り継ぐ会」代表で更女会員でもある浅海和子さんが、原爆の実相を
次世代に継承しようと区内中学の放送部と共に集いを企画実施(2015～2019年)し、
2018年にきり絵画文集をもとに朗読劇に取り組みました この活動がきっかけとなり
絶版となっていた寺尾智文きり絵画文集の再版がおこなわれました
この画文集を平和学習にぜひ役立てていただこうと、区内の7中学校に寄贈しました



各社新聞、兵庫県
だよりにより記事が掲
載されました

この本を平和学習のために東灘区の全中学校に寄付していただき、大変嬉しく思っています。
女優の前田伊都子さんがこの本を台本にし、声優の要勇人さんと共に朗読を、そしてマリンバ
奏者の中治渚さんがお二人の朗読を引き立てる素晴らしい演奏をし、素敵な YouTube 作品に
仕上げてくださっています。修学旅行等の平和学習に是非お役立てください。

この本を手にとってくださる方や YouTube を見てくださる方が増えると嬉しく思います。



(YouTube の QR コード)

令和3年～令和7年 5年間のあゆみ ⑤



◎新年互礼会 更女会

新年互礼会が保護司会と更女会合同でホテルプラザにて毎年行われ、参加しています

更女会は、令和7年3月コロナ禍後久しぶりに、櫻宴にて開催
近況報告やビンゴゲームなどで楽しいひと時を過ごしました



東灘区更女の主な足跡

- 昭和29年7月 少年保護婦人会発足 初代会長 篠部初子
33年 更生保護婦人会に改称
63年9月 第11回神戸ブロック研修(コープ生文センター)
平成7年1月 阪神・淡路大震災
9年9月 第21回神戸ブロック研修(コープ生文センター)
2代会長 松田辰の
11年7月 神戸まつり参加
3代会長 鍵田美佐子
16年7月 更生保護女性会に改称
4代会長 石田弘子
17年2月 50周年祝会 しらうめ記念誌発行(酒心館)
19年9月 第31回神戸ブロック研修(ホテルプラザ)
27年3月 60周年祝会 記念誌発行(ホテルプラザ)
29年9月 第41回神戸ブロック研修(御影公会堂)
5代会長 桑山美智子
30年5月 東灘区更女だより発行開始
令和2年～3年 コロナ禍にて活動休止や縮小
5年4月 6代会長 松澤恵
8年3月 70周年祝会 記念号発行(櫻宴)



昭和・平成・令和を経て多くの方々との出会い学ぶことが大きな財産となりました。更女の活動は AI にまさる人と人とのふれあいを大切に、次世代に繋げていきましょう。 桑山 美智子

保護司と更女は車の両輪となって活動しなければならないと初めに習いました。昔はミニ集会を開いて一般の人に更女を説明して更女に入っていただく努力をした時代もありました。

会員の皆様と一緒に、更生保護に関わる全ての団体と心を携えながら「綱領」を真摯に守りながら温かみや思いやりが込められた細やかな活動をしていきたいと思います。 森 光子

結成七十周年によせて

病窓に変化のありて鰯雲
四人部屋静まり返り星月夜
リハビリをやつと終わるや鱗雲
病室にて 山田 シヅ子

当初から熱心にリーダーシップを発揮された女性保護司数人は自発的に会を結成し、神戸刑務所の慰問を中心に一方では地元の矯正展やバザーをお手伝いしながら地歩を固めてこられました。それぞれの地区での特色が違い保護司会との関わり方も様々ですが、最近では社明の集いでの運営を担っています。趣旨に賛同する若い方も増え活気も一入。子どもたちが地域でいきいきと過ごせるようにと、心を砕き楽しい集いになるように模索しています。

羽島 敦子

東灘区更生保護女性会活動紹介
スライドの QR コード
(音声はありません)



<編集後記> 「出来る人が、出来る時に」のモットーのもと、無理せず活動を続けています。

今後も更女活動を通して笑顔が広がることを願っています。ご意見・ご感想等を是非お寄せ下さい。

サポートセンター TEL 078-772-9019 FAX 078-779-7079 (東灘区更生保護女性会)